

# 平成31年度琴清苑事業計画・収支予算(抜粋)

## 基本方針

平成31年度は4月末日をもって新しい元号に変わります。琴清苑も新しい施設として、6月には全面移転改築の内示が頂ける予定で、それをもって全面改築の工事がスタートします。現行の改築整備指針ではユニット型での整備が求められています。琴清苑は入所者のほとんどが負担限度額認定の第1段階から第3段階の方で、ユニット型での整備を行なった場合、これらの方は費用が払えず、退所しなくてはならない状況になります。加えて、町内の新規入所者が入所できないような施設への改築は行なうべきではないという法人の方針もあり、ユニット型ではなく従来型個室での改築としました。また、慢性的な財源不足を解消し、安定した運営を続けていくため、施設定員を86名(施設85名・短期1名)から96名(施設94名・短期2名)に10名の増員を行ないます。慢性的な職員不足の状況の中、職員がいかにかコンパクトで働きやすく、かつ利用者のプライバシーが守られる整備とします。これらの整備は、今後の東京都内での新しい改築のモデルケースとして期待されるものになると思われまます。

ハード面の改築は進捗しますが、人材確保は厳しい状況が続く、運営にも支障が出てきております。従来の方法では採用に至らず、苦しい運営となっております。介護老人福祉施設は介護をする人がいなければ、安定した運営が行なえません。決して機械などでは代替が効きません。人を見つけ、その人を育てることを地道に行なっていくことが重要になります。今年度は新たな試みとして、外国人技能実習生の受け入れを積極的に勧め、人員の確保に努めます。また、キャリアアップ段位制度の取組みを継続し、職員の資質向上にも努めます。

### 1 重点目標

#### (1) 業務内容の見直しの推進

- ・新しい施設へ向けて業務内容を変更し、個別ケアへ処遇内容の変更を行なってまいります。
- ・1フロアに4か所の拠点を置き、12名単位でのサービス提供になる事への準備を行なってまいります。
- ・各種シミュレーションを行ないながら2020年12月の移動に向けて準備を行なってまいります。

#### (2) 法人の理念である「心の福祉」の実践とチームワークの強化

- ・人間的なふれあいの中での処遇が実践できるようなケアプランを引き続き作成します。
- ・チームワークを強化しながら専門職としてのプロ意識の徹底を図り、質の高いサービスを提供します。

## 2 地域福祉サービス計画

### (1) 災害時の相互応援協定の整備

自然災害や感染症発生時の給食の相互援助協定を締結して災害等に備えてまいります。

### (2) 大規模災害対策の強化

自然災害発生時に福祉避難所として地域に対して協力し、行政と連携を図り、災害発生時には二次避難所として施設を提供します。

## 3 年間施設整備計画

新しい施設に向けて大規模な整備は行ないません。

詳細は事業計画書をご一読ください。

資金収支計算書(当初予算)		
勘定科目		琴清苑会計
事業活動収入計		366,839,000
事業活動支出計		365,597,000
事業活動資金収支差額 ( - )		1,242,000
施設整備等収入計		0
施設整備等支出計		3,342,000
施設整備等資金収支差額 ( - )		-3,342,000
その他の活動による収入計		9,400,000
その他の活動による支出計		7,000,000
その他の活動資金収支差額 ( - )		2,400,000
予備費支出		0
当期資金収支差額合計 ( + + - )		300,000
前期末支払資金残高		93,905,390
当期末支払資金残高 ( + )		94,205,390